

『系統看護学講座 家族看護学 第2版』正誤表

このたびは『系統看護学講座 家族看護学 第2版』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

第2刷（2025年2月1日発行）、第3刷（2026年2月1日発行）におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2026年5月25日作成

| 刷数 | 訂正箇所 | 誤 | 正 | 掲載 |
|------|-----------------------|---|---|-----------|
| 2, 3 | p.92 上から9～12 行目 | 「男女間における暴力に関する調査」において、 親しいパートナー（配偶者） から身体的暴行、心理的攻撃、経済的圧迫、性的強要のいずれかを経験した 女性 が25.1%と報告されている❷。また、配偶者暴力相談支援センターへの相談件数は 年々増加 しているなど | 「男女間における暴力に関する調査」において、 結婚したことがある人のうち、配偶者 から身体的暴行、心理的攻撃、経済的圧迫、性的強要のいずれかを経験した 人の割合 が25.1% （女性27.5%、男性22.0%） と報告されている❷。また、配偶者暴力相談支援センターへの相談件数は 増加傾向にあり、近年は高い水準で推移 しているなど | 2026/5/25 |
| 2, 3 | p.92 NOTE❷ | この調査データは、これまでに結婚したことのある人（ 2,591 人）のうち、配偶者からの被害経験について「あった」と回答した 女性 の割合である。 | この調査データは、これまでに結婚したことのある人（ 1,838 人）のうち、配偶者からの被害経験について「あった」と回答した 人 の割合である。 | 2026/5/25 |